

参加費
無料
要事前申込

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク
九州支部第 **3** 回フォーラム

ライフロング・ラーニング
in 九州



2025/
1/31 (金)

時間 14:30~17:00

会場 熊本城ホール 2階 シビックホール

プログラム プログラムは予告なく、変更する可能性があります

14:00 開場

14:30 開会・主催者挨拶

14:45 基調講演「プラチナ社会の実現と人財養成」

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 会長 小宮山 宏

15:15 特別講演「地元企業における人財確保策」

日本銀行 熊本支店 支店長 田原 謙一郎 氏

15:35 休憩

15:45 パネルディスカッション「学びの視点から地域創生を考える」

・菊池市長 江頭 実 氏

・株式会社教育と探求社 代表取締役社長 宮地 勘司 氏

・株式会社くまもとKDSグループ 代表取締役 永田 佳子 氏

・日本銀行熊本支店 支店長 田原 謙一郎 氏

・一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 理事 長澤 光太郎 (モデレータ)

17:00 閉会・ネットワーキング (名刺交換会)



申込方法

下記URL又はQRコードよりお申込ください

<https://forms.gle/RUedvLPs4bNxzDwv7>

申込期限：2025年1月20日(月)17時

※応募者多数の場合は、締切り前でも募集を終了
させていただきます可能性があります



登壇者紹介



小宮山 宏

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 会長
株式会社三菱総合研究所理事長、東京大学第28代総長

1972年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、2000年同大学大学院工学系研究科長・工学部長、2003年同大学副学長を経て、2005年4月から2009年3月まで東京大学第28代総長。2009年4月より三菱総合研究所理事長に就任。2010年8月には、「プラチナ社会」の実現に向けたイノベーション促進に取り組む「プラチナ構想ネットワーク」を設立し、会長に就任。



田原 謙一郎 氏 日本銀行熊本支店 支店長

出身地：神奈川県

平成5年 3月 東京大学経済学部卒業、平成4年 4月 日本銀行入行
平成19年 7月 業務局企画役、平成21年 7月 情報サービス局企画役
平成24年 7月 金融市場局企画役、平成26年 6月 政策委員会室企画役
平成28年 6月 金融研究所企画役、平成29年 5月 金融研究所歴史研究課長
令和2年 7月 帯広事務所長、令和4年 6月 総務人事局人材開発課長
令和5年 4月 熊本支店長



江頭 実 氏 菊池市長

昭和29年4月熊本県菊池市隈府生まれ。昭和47年3月菊池高等学校卒業後、九州大学経済学部へ進学。昭和51年3月九州大学卒業、同年4月株式会社富士銀行（現みずほ銀行）に入行。ドイツ、ニューヨーク、ロンドン、スイスなど主に海外部門に従事し、スイス富士銀行社長やロンドン支店長を歴任。退行後、平成21年1月ソフトバンクモバイル株式会社に入社。3年半勤務後、平成24年7月退職。平成25年4月菊池市長選挙に出馬し初当選。市長就任は現在3期目。



宮地 勘司 氏 株式会社教育と探求社 代表取締役社長 一般社団法人ティーチャーズ・イニシアティブ 代表理事

1963年長崎県生まれ。立教大学卒。日本経済新聞社に入社後、自らの起案により社内で教育事業を開発。04年日経を退社し、教育と探求社を設立。探究学習プログラム「クエストエデュケーション」を全国の中学・高校に提供している。2015年（社）ティーチャーズ・イニシアティブを設立し、学び続ける教師を支援している。



永田 佳子 氏 株式会社くまもとKDSグループ 代表取締役

1959年生まれ。1981年に第一企画株式会社に入社。退職後、2009年に（株）KDS菊池自動車学校および（株）KDS熊本ドライビングスクールの代表取締役に就任。その後、2020年に（有）KDS技能講習トレーニングセンターを設立し、2021年には（株）KDSコミュニティカレッジを創業。他にも多数の公職を務め、地域社会の発展に貢献している。また、熊本経済同友会常任幹事会副議長として、地域経済の振興にも寄与している。



長澤 光太郎 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 理事 株式会社三菱総合研究所 顧問

1958年東京都生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業後、三菱総合研究所でインフラストラクチャー関連の調査研究に携わり、40代から社会保障と教育の分野に転換。その後同社人事部長を経験し人材育成の難しさと重要性を体感。三菱みらい育成財団元理事。現在は学校法人十文字学園法人本部長補佐、東京都市大学非常勤講師を兼ねる。共著書等に「インフラストラクチャー概論」「共領域からの新・戦略」「還暦後の40年」。